

科目名	対象学科・学年 文学部文財3 回生 人間人社3 回生	担当者
総合演習		三宅 奎介
授業テーマ 現在の社会の問題点を広く理解し、教員としての課題の整理に向けて研究をすすめる。		
授業の概要と目標 今、社会は激しく変化しています。地球温暖化はなぜ起こるのか、世界は人間尊重の方向を歩んでいるのか、開発途上国はどうなるのか、格差問題はどうか等、これからの教員として必要な多角的な視点でさまざまな問題点を探求します。 授業では受講者各自（グループ）がそれぞれ課題を見つけ、多様な観点から調査・研究をすすめます。特に、コミュニケーション力に視点をおき、プレゼンテーション・質疑・討論を重視した授業を進めます。		
評価方法 授業目的の到達度の判断として ①発表内容（50％） ②討論への主体的参加および授業への姿勢（25％） ③自己および相互評価（25％） を基準に総合的に決定する。		
テキスト なし	著者	出版社
参考書 適宜、参考書籍を紹介する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容		
第1講	オリエンテーション ・授業の内容と演習のすすめ方 ・自己紹介	
第2講	授業のすすめ方Ⅱ ・これからの教員の資質と課題	
第3講	研究課題の設定 ・現在の学校教育の課題の上に立ち、研究課題を検討し、計画を作成する。	
第4講	人間はどうして豊かになれないのか（プレゼンテーション） ・開発途上国の生活実態 ・ユニセフやNPOの活動	
第5講	わたしたちは美しい地球を未来に残せるか（プレゼンテーション） ・開発と環境破壊 ・食料問題	
第6講	課題解決の追求・研究① ・実地調査・見学、調査資料・記録等を収集し、研究報告の作成をする。	
第7講	課題解決の追求・研究② ・実地調査・見学、調査資料・記録等を収集し、研究報告の作成をする。	
第8講	課題解決の追求・研究③ ・実地調査・見学、調査資料・記録等を収集し、研究報告の作成をする。	
第9講	課題解決の追求・研究④ ・実地調査・見学、調査資料・記録等を収集し、研究報告の作成をする。	
第10講	研究報告会・評価会① ・研究結果について口頭・パネル等で発表する。ならびに自己評価と相互評価をする。	
第11講	研究報告会・評価会② ・研究結果について口頭・パネル等で発表する。ならびに自己評価と相互評価をする。	
第12講	研究報告会・評価会③ ・研究結果について口頭・パネル等で発表する。ならびに自己評価と相互評価をする。	
第13講	研究報告会・評価会④ 研究結果について口頭・パネル等で発表する。ならびに自己評価と相互評価をする。	
第14講	課題の整理と研究のまとめ	
第15講	定期試験	